

「インバウンド対策セミナー」を開催します！
～飲食店インバウンド対応の最新事例と誰でもできる接客対応、
無料でできる千葉おもてなしSHOPガイドメニュー作成機能活用術～

千葉市では、急増する訪日外国人客の受入体制の構築と市内での旅行消費喚起のために「インバウンド対策セミナー」を開催しますので、お知らせします。

1 日時

平成30年1月24日（水）

（第1部）9：30～11：20、（第2部）11：30～12：30

2 会場

千葉市生涯学習センター（中央区弁天3-7-7）

（第1部）3階・大研修室、（第2部）地下1階・パソコン学習室

3 対象者

市内飲食店事業者等

※参加費無料。

※募集期間（12月22日（金）～1月23日（火））

4 内容

今回は、トリップアドバイザーで「外国人に人気の日本のレストラン2017」にもランクインする人気店から講師を迎え、訪日外国人へのサービスおよび誘客のノウハウを紹介頂きます。さらに、市内飲食店事業者からの要望を受け、すぐに始められるおもてなし英会話の講義と実践を行います。

また、昨年に引き続き、「千葉おもてなしSHOPガイド」を活用したメニュー作成の講義も行います。セミナー当日に実際にメニューを作成していただきますので、多言語メニューを準備したいという事業者はぜひご参加ください。

（1）第1部「飲食店インバウンド対応事例の紹介と実践」

飲食店が外国人対応で不安に思うコミュニケーション方法や外国人集客のコツを紹介し、外国人受入れに対する心理的なハードルを下げ、おもてなしの第一歩からの取り組みを進めます。

①講師 株式会社 KUURAKU GROUP「串焼 BISTRO 福みみ銀座店」店長 ^{たかや}高谷 ^{しゅう}周氏

※株式会社 KUURAKU GROUP

国内19店舗、海外はカナダ、インド、インドネシア、スリランカなど14店舗の飲食店を展開する企業（本社は千葉市美浜区）。福みみ銀座店はトリップアドバイザーで『外国人に人気の日本のレストラン2017』で全国14位にランクインする人気店。

②内容

- ・インバウンド対応事例と売上UPの秘訣
- ・おもてなし英会話の実践（千葉市在住外国人との英会話の実践）
- ・その他（千葉おもてなしWi-Fi、千葉市外国人観光客受入環境整備等支援制度の紹介等）

③定員 80名（申込先着順）

- (2) 第2部「無料でできる！「千葉おもてなしSHOPガイド」多言語メニュー作成機能」
インバウンド需要を取り込みたい、メニューの多言語化を検討しているがやり方がわからない方必見！「千葉おもてなしSHOPガイド」を用いて、パソコンが苦手な方でもわかりやすく、多言語対応メニューの作り方をお伝えします。

- ① 講師 株式会社リクルートコミュニケーションズ ^{てらかど ゆうこ} 寺門 祐子 氏
- ② 内容 「千葉おもてなしSHOPガイド」を活用した多言語メニューの作成
- ③ 定員 20名（申込先着順）

※セミナーについての詳細は、市ホームページをご覧ください。

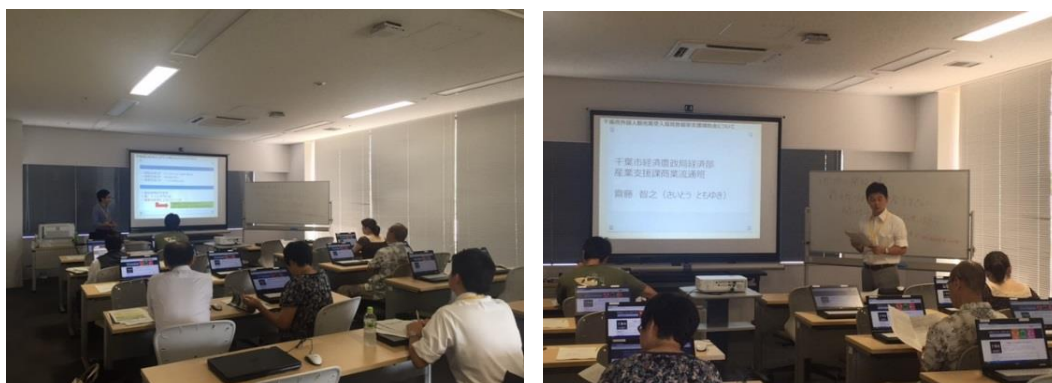
<http://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/promotion/seminar.html>

5 主催等

- (1) 主催
千葉市
- (2) 共催
千葉商工会議所、千葉市中心市街地まちづくり協議会、公益社団法人千葉市観光協会
- (3) 協力
公益財団法人千葉市国際交流協会

《参 考》

- (1) 「千葉おもてなしSHOPガイド」の状況（平成29年12月末現在）
 - ・登録事業者数 327店舗
 - ・ウェブサイト閲覧順位 “Chiba shop” で検索 Google、Yahoo、Bing で各1位
 - 【事業者向け URL】 <https://omotenashi-chiba.net/create/>
 - 【店舗紹介・検索 URL】 <https://omotenashi-chiba.net/>
- (2) 昨年度開催「千葉おもてなしSHOPガイド多言語メニュー作成セミナー」について



昨年度開催時の様子

- ①参加者の声 参加者満足度100%（参加者アンケートより）
 - 「思ったよりも簡単に多言語メニューが作成できた。」
 - 「無料でこのシステムが使えるのはすごい。」 など
- ②前回のアンケート結果をふまえた、今セミナーの改善点
 - ・外国人客の来店数がまだまだ少ない店舗が多かったため、今回はインバウンド対応についての事例紹介を行い、市内店舗のインバウンド対応の機運を醸成する。
 - ・多言語メニュー作成以外で困っていることで「Wi-Fi 整備」が挙げられていたため、千葉商工会議所の協力により、「千葉おもてなしWi-Fi」の事例紹介を行う。